

日帰りで行く郊外の街 シリーズ3

# まるで物語の世界に迷いこんだよう 中世の香り漂う街ライ

ロンドンから約2時間もすれば着く小さな街、ライ (Rye)。かつては港町として繁栄を極め、多彩な歴史に彩られたこの地は、今もその当時の雰囲気や中世の建物を多く残し、訪れる人々を魅惑してやみません。

Text & Photo : Mami McGuinness

塔の上からライの街並みを一望!

セント・メアリー教会 ①

St Mary's Church

ライで最も高い建物である教会は、街のシンボルともいえる存在。Lion Streetをまっすぐ歩いていくと、正面に見えてくるのが「Quarter Boys」と呼ばれる時計のある鐘楼。5m以上もある時計の振り子は1810年に設置されましたが、時計自体は1561～62年に作られ、今もなお現役です。

ビール腹のイギリス紳士には通るのがちょっと難しいかも(?)と思うほど細い階段を上って塔の上に出ると、まるでおとぎ話の世界のような、テラコッタの屋根が並ぶライの街が目の前に広がります。ライ散策で、まず最初に訪れたい場所です。

Church Square, Rye, East Sussex TN31 7HH  
9:00-19:00 (6~8月、毎日)  
9:00-17:00 (9~5月、毎日)  
教会内の見学は無料だが、塔に上る場合は£2が必要



教会の時計としてはイングランドで最も古いといわれるタワークロック



塔の上から見る景色は、方角によって違った表情を見せる。これは、北方向を見下ろしたところ

お茶目な表札に注目!

ライの街にある家々には「○○コテージ」など、それぞれユニークな名前がつけられています。それを表すネームプレートもとってもキュート。陶器で有名なライだけあって、多くのプレートがイラスト入りの陶製です。家の主の人物を思わせるようなものや、美しい花柄など、面白いプレートを見つけるのも、ライ散策の楽しみのひとつにできそう。



ランド・ゲートは、1329年、エドワード三世の命により作られた4つの門のうち、唯一当時のままに残され、中世の名残を伝えている

現在のライは、海まで約2マイルほどの距離がありますが、かつては海に面し、14世紀には、The Cinque Ports (シンク・ポーツ: シンクはフランス語で5を意味するサンクに由来する言葉) の主要港湾として、イングランドの南東部の海防につとめていました。当時のライは、船舶や水兵を国に提供するかわりに、自治権や免税などの特権を享受し、海洋都市としての発展を極めます。フランス軍の度重なる襲撃、特に1377年の攻撃により、街全体が焼き尽くされんばかりの被害にあいましたが、その大火を逃れた建物、イブラ・タワーやランド・ゲートは、現在も当時の姿をとどめ、その時代の名残を人々に伝えています。

また、18世紀には、貿易港としての利便さから密輸の拠点とされ、密輸によって財をなした者たちが集まり、街は相当の賑わいをみせていたといえます。それ以外にも、コレクタブル・アイテムであるライ陶器の産地としても知られ、現在では、アンティーク・ショップが集まる場所としても人気を集めているこの街。ロンドンから日帰りも十分可能なので、今度の週末にでも、気軽に出かけてみてはいかがでしょうか。

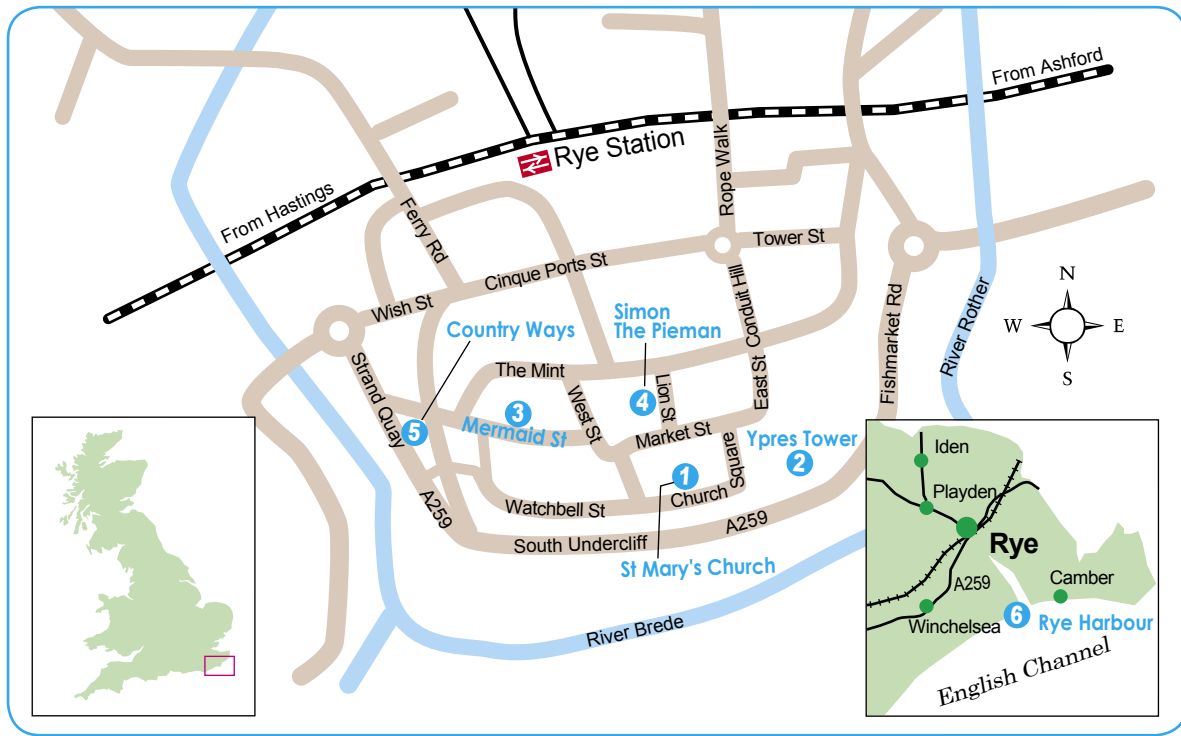
建物の後ろには「Gun Garden」と呼ばれる大砲の置かれた広場がある



フランスからの攻撃をくり抜けた建造物  
イブラ・タワー (ライ・キャッスル・ミュージアム) ②  
Ypres Tower (Rye Castle Museum)

1249年に街の要塞として作られたこの建物は、幾度かのフランスからの襲撃に耐え、城、住宅、刑務所として使われたというユニークな歴史を経て、現在はすぐそばのEast Streetにある建物とともに、キャッスル・ミュージアムという博物館になっています。中世の甲冑や弓などが展示されていて、そのいくつかは実際に手に持ってみることができるので、子供連れでも楽しめそう。刑務所時代の独房だった場所に立って、当時の囚人が感じたであろう閉塞感を味わってみても(?)

Ypres Tower, Rye, East Sussex TN31 73F Tel: 01797 226728  
10:30-13:00、4:00-17:00 (4~10月、入場は閉館30分前まで)  
10:30-15:30 (11~3月、オープンは週末のみ) 火、水休  
大人£1.9 子供£1  
(East Streetの博物館も見学する場合には大人£2.9 子供£1.5)  
www.ryemuseum.co.uk/ypres.htm





アンティークのキッチン・グッズを探すならここ

カントリー・ウエイズ ⑤  
Country Ways

アンティーク・ショップがひしめくライの中で、ここはオーナー、ジェーンさんのお眼鏡にかなったキッチン・ウエアをメインに取り揃えていて、日本人観光客にも人気。クッキー型やケーキ型、かわいいうさぎの形をしたゼリー型など、お土産にしても喜ばれそうなものがたくさん並んでいます。また、日本にもコレクターの多い、ホーローのブレッド缶やフラワー缶も種類が豊富なので、料理に興味がない人でもお気に入りが見つけれそう。

レトロな表紙が可愛い、セカンド・ハンドのレシピ本も買えます。右£2.5、左£4



Strand Quay, Rye, East Sussex TN31 7DB  
Tel: 01424 713635, 07754 308269 10:00-17:00 (毎日)



店頭にはホーローのジャグやバスケットなどが飾られています



手作り菓子がおすすめの老舗ティー・ルーム  
サイモン・ザ・パイマン ④

Simon The Pieman

1920年創業という、ライで最も古いティー・ルームのひとつ。16世紀から使われていたという暖炉が置かれている店内は、こじんまりと落ち着いた雰囲気です。紅茶を注文すると、紅茶のポットのほかに、お湯の入ったポットも別に出してもらえるので、お代わりがたくさんできるのがうれしい。St. Mary's Churchのすぐそばなので、教会の帰りに立ち寄ってみて。



紅茶は£1.25とリーズナブル

Simon The Pieman  
3 Lion St, Rye, East Sussex TN31 7LB  
Tel: 01797 222207  
9:30-17:00 (月-金) 9:30-17:30 (土) 13:30-17:30 (日)

いにしえの人々の足音が聞こえてきそう

マーメイド・ストリート ③  
Mermaid Street

ガイドブックなどでは必ず紹介されている、ライの中でも最も有名な通り。'cobble street' と呼ばれる、玉石を敷き詰められたゆるやかなこの坂道は、黒い木材と白い漆喰壁のコントラストが美しいチューダー様式の建物を眺めながら、ふらふら歩くのにぴったり。通りに面した 'Mermaid Inn' は、1156年に作られ、エリザベス一世やクイーン・マザーも宿泊したという由緒ある宿。レストランだけの利用もできます。



足ツボを刺激されるような(?)丸石の道。右手のツタの絡まる美しい白壁の建物が 'Mermaid Inn'

出かける前にウェブでチェック!  
www.visitrye.co.uk  
www.ryeheritage.co.uk  
www.rye-tourism.co.uk

アクセス・インフォメーション

列車で

ロンドン・チャリング・クロス、ロンドン・ブリッジ、ウォーターロー・イースト駅から、アシュフォード・インターナショナル駅でライ行きに乗り換えて2時間弱。また、ロンドン・ヴィクトリア、ガトウィック・エアポートからの電車もありますが、その場合にはヘイスティングスでライ行きに乗り換え。  
www.nationalrail.co.uk

車で

ロンドン M25 から M20 に入って、ジャンクション 10 から A 2070 でライへ。www.theaa.co.uk

観光案内所

Rye Tourist Office  
Rye Heritage Centre, Rye Strand Quay, Rye, East Sussex  
TN31 7AY  
Tel: 01797 226696  
9:00-17:00 (毎日)

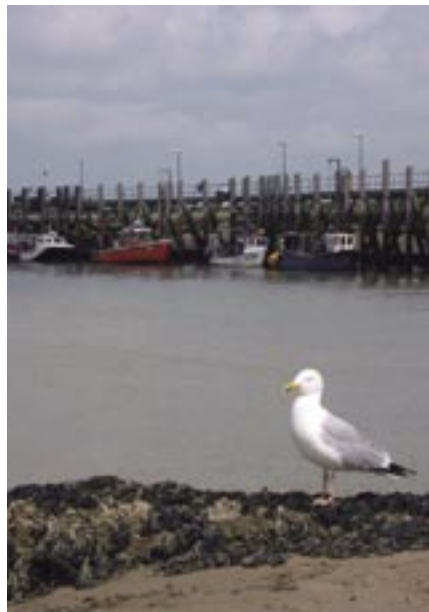
貴重なワイルド・ライフに出会える

ライ港 自然保護区域 ⑥

Rye Harbour Nature Reserve

地元の人に言わせると「バブが2軒あるほかは、自然があるだけ」のライ・ハーバー。その、ゆるい空気感がなんとも心地よい港には、たくさんのヨットが停泊しています。また、港から海へとつながる一帯は自然保護地区というだけあって、野鳥、貝、昆虫、珍しい花をつける植物など、野生の動植物が豊富。バード・ウォッチングのための小屋も用意されているので、ぜひ、双眼鏡を持って出かけてください。

Rye Harbour Nature Reserve Manager,  
2 Watch Cottages, Nook Beach, Winchelsea,  
East Sussex TN36 4LU  
(ライ港へは、ライ駅前から出ているバス 325 番に乗って約 10 分。バスの時刻については、バス停、または観光案内所で確認を)  
www.wildrye.info



ここまでやってくると「港町ライ」を実感できる

ちょっと足をのばして、隣街へ

Winchelsea (ウインチェルシー) は、ライと同様、中世の城塞都市で、13世紀に作られました。碁盤の目状に作られた美しい街並みは、観光地化されていない分、イギリスのカントリーサイドの雰囲気を十分に味わうことができます。街の中心にある美しい教会『St Thomas' Church』を見るだけでも価値があるので、時間があつたらぜひ訪ねてください。(ウインチェルシーへは、ライ駅前から出ているバス 711 番に乗って約 13 分ほど。バスの時刻については、バス停、観光案内所で確認を)  
www.winchelseatown.co.uk

